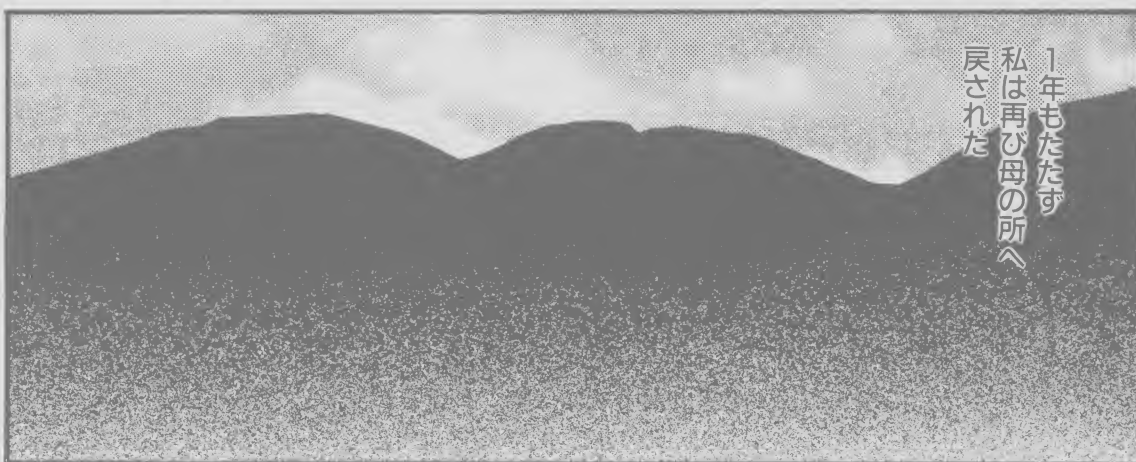
新シリーズ・スタート

家はその頃
ちょっとした飲食店を
経営しており
東京へも進出を計り
父が単身で出向いていた

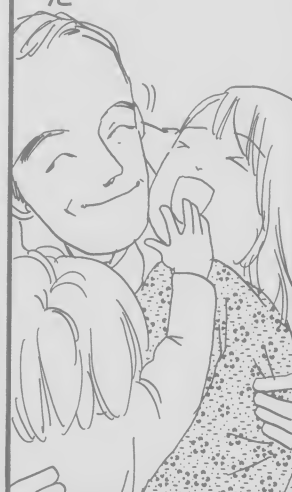
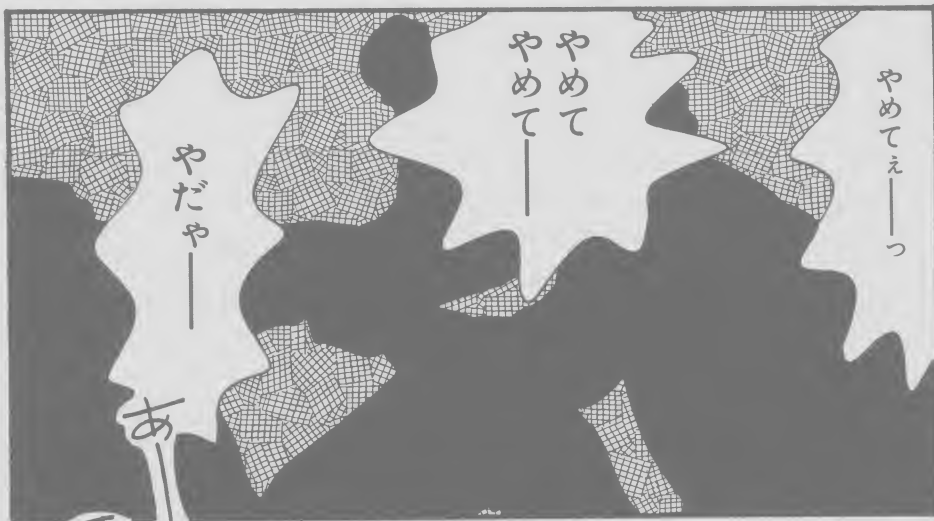
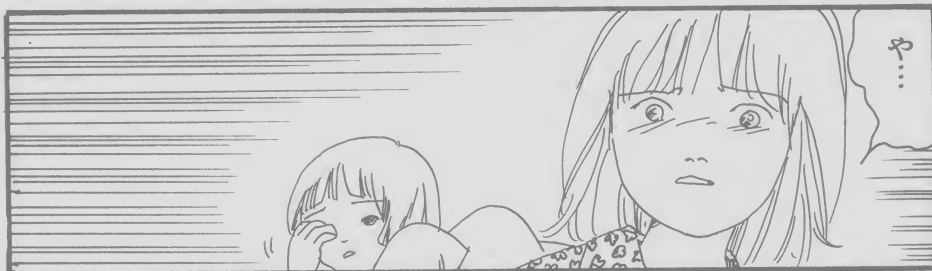
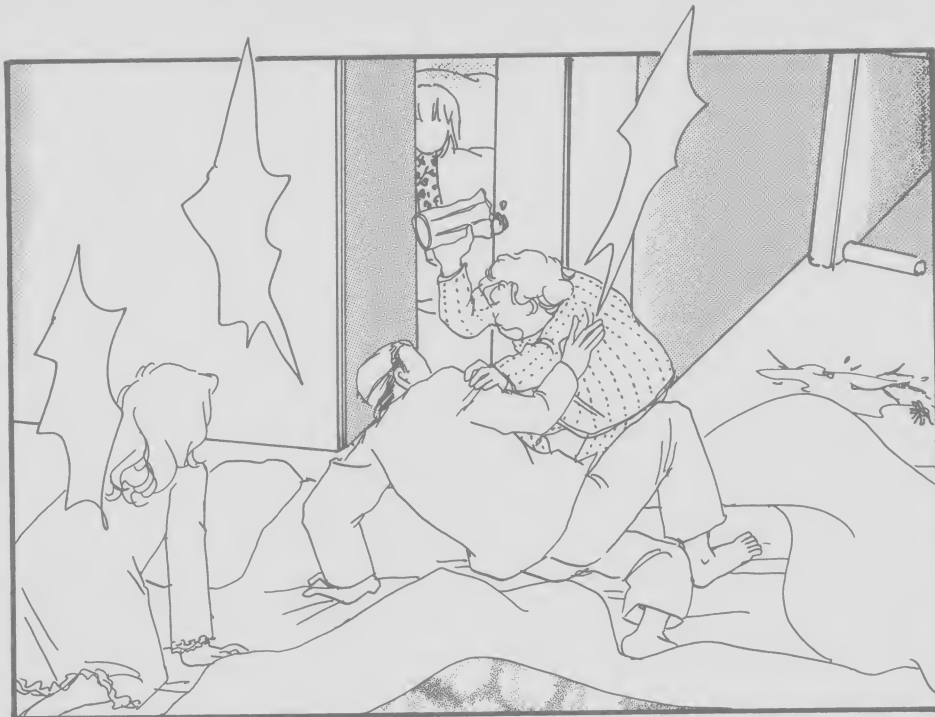
経営状態がどうだったのか
子供だった私には
知る由もなく
ただ、
出店して半年程して
私は父の元へ送られた
小学5年の春である

転校先の学校が
どうだったなんてどうでもよく
うちへ
遊びに
おいでよ
走るの
速いね
問題は他にあった

おそらく母は
このことを意識して
私を父の元へ
送ったに違いない

夜遅くまで
開いてる店のため
私は従業員の布団と
合わせて3組を
毎日敷くことが
日課となっていた
よし、と

やさしくて
頭が良くて
面白くて
どこにも
非を打つ箇所が
見当たらなかったのだ

中学1年の
その時 全てを了解するまで

ガシャーン
や…
やめてぇ──っ
やめて
やめて──
やだャ──
あーん
あーん

祖母の七回忌の朝の
あの喧嘩を忘れる
ことはできない

父には5年間も
愛人がいたのだった

ふーん

正月帰る度に何か変だなーとは思ってたけど

私は両親にとって遅い子で（妹はもっと遅い）初めての子供で大変かわいがられ大事に育てられた

いくつになっても
随所にその愛情を感じ
お父さんは
何でも
お姉ちゃん
ばかり
リマのこと
なんか嫌い
なんだ!!
そんなこと
あるわけない
じゃない
リマがあんまり
泣き虫だから
怒られるんでしょ
違うもん
違うもん
究極の選択を
課せられた時のように
または同じ重さ
同じ量の愛情を
二人に均等に
分け与えることは
不可能であると
した場合
確かに
どっちも
かわいい
子供だけど
どうしてかな…
……
私には妹より多く
父に愛されている
という実感が
確かにあった

この世に娘を持つ親が大勢いる中娘の結婚をせかす親の存在は珍しい
お前も来年三十路かあ
いいんだよ結婚なんかしなくて
全然考えてないよ
家もその多数派であった
その3ヵ月後
お母さん？今つきあってる人がいてね
結婚することにしたから
え…？
いい？
いいって…
舌の根もかわかぬうちに180°方向転換だもの
で、お母さん達いつ出てくるの
1週間後だって
めんどくさ〜〜

そんなこと言って…
お父さんと合わないいんだよね
必ずケンカになる
フリーターなんて将来の見えないことやってるから
放っといてくれって感じ
仕送ってもらってるわけじゃなし
心配なんでしょ
あ〜あお姉ちゃんはいいよねー
あの二人ここに泊まるんだよ
来るよ毎日
私は逃げているのか――？
JR

お父さん
やせたん
じゃない？
少し
やせた方が
体にいいんだよ
食べないんさ
あんまり
身体
良くないいん
じゃない？
4年前の
潰瘍
治ってないん
じゃない
薬は
飲んでるん
だけどね
早々に
退院させた
から
だって帰りたいって
聞かないんだもの
父は歩くのが
遅くなっていた
車ばかり
乗ってるから
足が弱く
なっちゃうん
だよ
確かに
元気もなくなっていた

どうなんだ最近
えーテキトーにやってるよ
始まる…？
そうか…
まあしっかりやれ
え…う、うん
で、今日は何日だっけ？
13日
そうか
珍しい
くすっ
ところで何日だ今日は？

え―――？今言ったでしょー 13日だよぉー
ええ？言ったかぁ？
言ったよぉー
そうかぁ？聞いてないぞ？
言ったの！
その日父は何度も何度も今日の日付けを聞いた
お母さん戻ったー？
あ、来た来たコウちゃんだよ
ああコウ…
今 シイちゃんとこでごちそうになっちゃってて
ごちそうだなんて…
どうだった？
これ タイヤキ 買ってきた

脳に血栓があるんだそうだよ
血が詰まってるんだって
詳しい結果は5日後なんだけどさ
アルツハイマーじゃなくて？
あれお父さんは？
向こうの部屋行っちゃった
リマが相手しないから
だーって
一人になりたがるんだよ
スーッとどこか行っちゃうんさ
家でもそう
呼んで来なよお姉ちゃん
お父さんタイヤキ買ってきたの食べない？

ああ…
テレビを見るでもなし
雨戸の半分閉まった部屋で
電気も灯けず暗いまま
かといって眠っているでもなく
目を見開いて
16
父はどこへ行っていたのか
あ…
今日は何日だっけ?
一九九六年秋――

第一回／終